

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和元年度 第3回子ども・子育て会議
開催日時	令和元（2019）年11月15日（金）13:30～15:00
開催場所	子育て世代包括支援センター 会議室
出席者氏名	別紙（委員名簿）
欠席者氏名	山近委員，松岡委員
事務局職員氏名	福祉保健部 山本部長 子育て支援課 下野課長，鍵本課長補佐，濱野課長補佐，中田専門員
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 会長あいさつ 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> （1）施策の展開（取組事業）について （2）子育て支援施設・事業の量の見込みと確保方策について （3）今後の策定スケジュール及び会議の運営等について 4 その他 5 閉 会
配付資料	<p>資料1 第2期 江田島市子ども・子育て支援事業計画-素案-</p> <p>資料1-1 「第2期江田島市子ども・子育て支援事業計画」策定について</p> <p>資料2 第2期 江田島市子ども・子育て支援事業計画（施策体系と取組）</p> <p>資料3 子ども・子育て会議の進め方（案）</p> <p>その他 次第，委員名簿</p>
その他	

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・出席者の確認 ・資料の確認
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・議題（１）施策の展開（取組事業）について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料１，資料１－１説明
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・意見や質問等あれば伺いたい。特に取組に対する意見があれば伺いたい。
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> ・所々に「プロフェッショナルを呼んで」「専門家を呼んで」的なものがある。例えば資料１ P42（１）妊娠期からの切れ目ない支援体制づくりなどだ。地域の人との触れ合いと分けて考えていない。イベントに関しても経験者や一般人を呼んで、触れ合うだけでも違う。マタニティスクールなどに参加すると、母親は熟知している人を目の前にすると緊張する。「かわいい」「こんなことあったよ」というおばちゃんがいたら、地域とのネットワークも関連する。分けなくてもよいと思った。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・今と同じような意見，関連した意見はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての時期は地域とのつながりや人とのつながりが欠かせないので、大事な意見だと思います。基本目標２で触れましたが、子育てサークルの育成、支援も取組の中で考えています。現在は地域で子育ての活動をしている人を把握しきれていないので、情報を集めながら、そういう人たちに事業に参加してもらえる状況があれば、取組として入れたいと思います。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の居場所づくりをテーマに、地域で母親を集めて、子育てと季節の食べ物や地元の食べ物について教えるサークルをしている。評判がよい。
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の色々な子育て関係のグループトークに参加すると、サークルでやっている情報の発信が市からまとまってでなく、Facebookなど個人発信だ。バラバラでなく、一つにまとめてという意見がどこでも出ていると思うので、一目で見てわかればよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市は広報誌やホームページ，チラシ配布で情報を発信していますが、なかなか伝わりきれていないと感じています。子育て活動の一つとして、サークル情報を集めた場合にどう発信したら、色々な人に伝わりやすいか頭を悩ませます。アイデアやヒントをもらえたらと思います。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人は色々持っているのではないか。
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人によって見るものが違うからどうなのかと思う。皆に発信するなら配る、受け取るだけで分かるのが一番ありがたい。

議事内容（要旨）	
梅比良会長（議事進行）	・どういう形で伝えてもらったらわかりやすい、こういう形で伝えるとよいというはあるか。
西森委員	・最低限ここに行けば、見ればわかる、情報があるのであれば、貼り紙が一番だ。
三王委員	・私も一番好きだ。 ・保育園が開放されているが利用者はいるのか。子どもが小さい頃に参加したことがあるが、うちくらいだった。広報には載っているが見たことがない。
西森委員	・「知っていても行きにくい」という声はよく聞く。
事務局	・保育園がこういう工夫をしてくれたら、その垣根が下がるというものがありますか。
三王委員	・私は特にないと思う。
三上委員	・園庭開放をまだ使ったことがないし、これからもない。子どもを連れて行ってどうするのか。
西森委員	・保育園開放に行って、どう振る舞ったらよいか分からないのもある。先生は忙しいだろうと、日本人なので思ってしまう。
三王委員	・行ったら遊んでくれるので、親も一緒に遊ぶ感じになる。
事務局	・実際に園庭開放に来ている人は、どのような遊び方や関わり方をしているのですか。
眞澤委員	・今年は利用が少ないように思う。園児が出ている場合は、自然の流れで一緒に遊ぶようにしている。来てくれるとよい。
西森委員	・保育園を通るときにしーんとしていたら、行けないかと思ったことがある。
眞澤委員	・10時から11時までは開放しているので、職員は皆来るかもしれないと思っている。
三上委員	・施設のつくりとして門が大きいので入りにくい。
西森委員	・「ウェルカム」と貼っておくのはどうか。
事務局	・ウェルカムボードがあると違うかもしれません。
梅比良会長（議事進行）	・例えば「園庭開放中」とかでもよい。
三上委員	・支援センターに掛けておくと、そこへ来る人が行ける。
三王委員	・支援センターに行くよりも、保育園の方が楽しいのではないかと思う。
事務局	・工夫してもらおうようにします。ウェルカムボードがあるだけで、違うと思います。

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの岡田委員の発言が正にそれです。地域の人と地域の親子が地域の1つの拠点の中で触れ合う事業を行い、必要であれば保健師や助産師などの専門家が訪ねる、普段の広場活動の中で母親が求めている専門的な知識の勉強会をすることが各地域でできればよいと考えています。地域拠点を整備して、そこに地域の親子や地域の人触れ合う場所、交流の機会を作ることをこれからの5年でやっていきたいと考えています。 ・高齢者もこれと同じです。今高齢者福祉で一生懸命やっているのは、「いきいき100歳体操」です。地域の人自分が自分で歩いて行ける集会所や公民館、近所の家に集まって、健康づくりのための体操をし、お茶を飲んで日々の悩みごとや困りごとを話すものです。来年度からはそこへ保健師が行って健康の話をしたり、管理栄養士が行って食事の話をしたりという活動に保健福祉部として取り組みたいと考えています。高齢者にしても、子育て世代にしても、地域の中に皆が集まれる場所を作り、そこに必要に応じて専門的な知識のある者が行くようにしないといけないと考えています。
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> ・その場所が子育て世代包括支援センターではないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ここはメインの施設ですが、それぞれの地域の公民館やプラザ、集会所で行います。いきいき100歳体操でいえば、個人宅もあります。子育てサークルの皆が集まりやすい場所へ行く、例えば西森委員の家に「三家族集まっているので、そこで保健師に話をしてもらいたい」という希望があれば、出前講座という形で行って話すこともこれからはやっていきたいと考えています。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今、災害時などの避難といえば高齢者ばかりだが、授乳中など小さな子どもを連れている人がどのように避難したらよいかを前回出前講座で行った。手をつないでおかないといけないような小さな子ども連れだと、高齢者同様レベル3で避難しないといけないことを知らせた。皆関心を持って聞いてくれた。
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が自宅などを使っているのを子育て世代や妊婦にということだが、メンタル的に揺れている母親がそこでプロフェッショナルの話を聞くと、逆にプレッシャーになることもある。そこに地域の人が出て、「そうは言ってもね・・・」的な話が出ると、母親も安心できるように思う。少しゆるい感じがあると嬉しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・西森委員の意見は、会を運営していく上で参考になります。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽な会だと、普段行っていない人にも声を掛けやすい。口コミで少しずつ広まり、よい話が聞けた、知り合いができたという良い面もある。よい話し合いができていると思う。 ・他にあれば伺いたい。 ・続いて、議題（2）子育て支援施設・事業の量の見込みと確保方策について、事務局より説明願いたい。

議事内容（要旨）	
事務局	・資料1説明
梅比良会長（議事進行）	・意見や質問等あれば伺いたい。 ・ないようなので、続いて議題（3）今後の策定スケジュール及び会議の運営等について、説明願いたい。
事務局	・資料3説明 ・次回会議予定（2月13日（木））← <u>会議後に2/14（金）に変更。</u>
梅比良会長（議事進行）	・忙しいと思うが参加できるようお願いしたい。 ・続いて、その他について何かあるか。
事務局	・資料1はボリュームがあるので、全てに目を通すのは大変だと思います。本日意見をいただいた第4章は、それぞれの担当課がこういう方向で頑張りたいことを記載しています。本日の意見はこれから反映させたいと思いますが、会議では発言できなかったものの、もっとこういうところを大事にしたい、素案にはないがこういったものに取り組んでもらいたい等あれば、事務局に直接電話などで教えてもらいたいと思います。現在私たちが示しているのは骨格の部分なので、肉付けしてもらうのは委員の意見です。本日の会議で終わりではなく、2月の会議まで時間があるので、特に第4章について意見を寄せてもらいたいと思います。
梅比良会長（議事進行）	・遠慮なく連絡してもらいたい。色々な形で反映してもらえと思う。
事務局	・この計画がこれから5年間の江田島市の子ども・子育てのバイブルになります。この計画があれば、議会にもお願いして予算をもらうことができます。一番強いのは、子育てに関わる委員が参加している会議で、委員の意見を元に作っていることです。子育て世代の意見を聞いて作った計画なので、事業に予算をつけてもらいたいとお願いできます。この会議は強い力、説得力を持っているので、事務局に意見を寄せてください。
梅比良会長（議事進行）	・第1回で市長が「若い母親や委員に期待している」と話されていた。遠慮することなく、若い感性で色々なアイデアを出してもらいたい。
岡田委員	・前回の会議で「こども園に本がほしい」という意見が出たが、この願いは聞き入れてもらえるのかと思う。子どもたちはよく本を読む。うちの児童館でも交代で母親が読み聞かせをしている。ぜひ議会で予算をもらいたい。
事務局	・頑張ります。
梅比良会長（議事進行）	・ほかに何かあれば伺いたい。

議事内容（要旨）	
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> この会議で子育て支援と聞くと、子育て世代包括支援センターで開かれていることもあり、乳幼児対象というイメージがある。しかし子育ても段階があり、小学校、中学校とある。母親はそれぞれで意見を持っているが、意見を言えない人もいる。話を振るともっとたくさんの意見が出ると思うので、この会議自体を机、椅子なしでよいので、議題に対する意見を母親から直に聞ける機会があるとよい。個人的なものもあれば、地域や江田島についてもあり、色々があるとと思うが、実現できるできないにかかわらず意見を聞くことで、母親との意見交換の場としてよい雰囲気になったかと思う。
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> 西森委員の意見に加えて、せっかくこの場に来て、持って帰る場があるのかと思う。
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> 私も思っていた。自分は意見を言えるタイプなので、この場で発言しても「言えてよかった」と帰れる。毎回意見を言える雰囲気が整っていなければ、来ている意味があるのか感じる人も出てくる。
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> 個人の意見も大事だが、ここで宿題を出して考えてくださいというものはない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 1月より1か月間、パブリックコメントとして市のホームページで公開して、市民に意見を聞きます。委員には、自分が参加している会議で計画が作られ、パブリックコメントとして公開されているから、意見を書き込んでもらいたいと周囲に言ってもらえると、市民の意見を反映することができます。 そしてもう一つ、江田島市では子育て世代を応援するための企画を行っていますが、情報を届けたい人に上手く情報が届いていないことが課題としてあります。課題解決のために、子育て世代の人に「こういう情報発信をしてもらいたい」という具体的な意見をもらえるとありがたいです。持って帰って、声を吸い上げてもらえるのなら、お願いしたいと思います。
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> これはどこまで見せてよいのか。委員には保護者会代表もいるが、そういった保護者会を開いているのか聞きたい。
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> 意見が交換されて、活気づいている雰囲気は保育園も小学校もない。心も体も健やかにと願うゴールは一緒なのに、保護者と保育士、先生といった大人が交わっていない雰囲気を感じる。 私は園長より「こんな会議があるので、行ってもらえるか」程度のお願いで始まった。自ら率先してという始まりではない。もう一步入り込んで、意見交換できる場があると楽しい。

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な階層で話をする場面は違うと思います。その声を集めるのが子育て世代包括支援センターです。子育て広場のような所で何か1つテーマを決めてフリーで意見を言ってもらえる機会があってもいいし、ワークショップのような形で、そこで出た提案の1つを具体的な成果に積み上げる、実際のプログラムとして実現させるという形の話し合いがあってもよいと思います。今の声は子育て世代包括支援センターの運営の声に生かしたいと思います。色々な階層レベルで子育て世代が話し合う場面をたくさん作る取組を大事にしていくようにします。
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この書類はどこまで見せてよいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者代表で来ているので、保護者に見てもらい、特に第4章についての提案や意見をもらえるとありがたいです。 ・この会議は秘密会議ではありません。子育て世代代表として集まってもらっているので、自身の意見だけでなく周囲の保護者の意見を言ってもらえたらと思います。それが生の声で、その声を議会や他の部局に伝えるのが私の仕事です。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園でも色々なことがあると思うので、どんどん伝えてもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・私一人の考えよりも、「この人がこう言っています」と言う方が説得力はあります。
三上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・委員名簿によると、私と濱田委員、宝委員、三宅委員はこども園の前の旧4園の役員で出ているが、現時点のこども園の役員がいない。私も下に保育園児がいないので、保育園の保護者の声が聞こえてこない。
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> ・声を掛けていくのか。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私はサークルのメンバーに見せるが、色々な意見が出る。全部は言えないが「これは理想だ」「これができてればいいんだけど」といった声がある。 ・私が聞いているのは、4時半までではなく2時までの母親なので、4時半の母親はわからない。
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を言う、実現を目標にするのではなく、そう思っている母親の把握をする意味では言ってもよいと思う。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもがいるから、こう思うとははっきり言えない」と言う。本当のことを正直に言うのは怖いようだ。
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> ・預かる側がそういう意見を持つ母親と持たない母親を区別するのであれば、差別だと思う。なくしていかないといけない。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「言いたいことを全部言うのは」と言いながら、資料を見て色々意見と話している。「うちは4時半まででなく2時までの子どもだから我慢しないと」というのがあるようだ。
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> ・何を我慢しているのか。

議事内容（要旨）	
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2時までは、先生との連絡網がないそうだ。何か聞きたいことがあれば、担任の先生との9時の連絡簿だけだ。連絡事項を読み忘れると、連絡がないことがあるそうだ。ちゃんとした連絡網がほしいと言っている。直接言ったらどうかと言っても、「きまりでできない」と言われたそうだ。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡田委員が「こういう声がある」と伝えるのは、差し障りない。
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども園の保護者がここにいたらと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の選任については、認定こども園が出ていなかったり、卒園している保護者に委員として残ってもらったりしています。子育て支援事業計画の策定を継続的にやっていかないといけないことから、新たな選任が難しく、引き続き委員をやってもらっています。認定こども園えたじま、おおがき、のうみでの意見もあるかもしれませんが、あくまでも計画は子どもを支援するためのもので、未就学児だけのものではありません。今は保育園や小学校代表の委員もいるので、それぞれの立場で率直に発言してもらえたらよいと思います。 ・ 他の保護者に伝えるとき、資料を回すのも大変だと思うので、毎回会議の議事録や資料をホームページに載せています。小さくて見にくいかもしれませんが、見てもらえたらと思います。
眞澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の計画に絵本のことや資質の向上、事務作業の効率化を入れてくれたことに感謝している。保育園に持って帰って、勤務先だけでなく、他の保育園にもこういった計画があることを知らせて、保育園の保育士からの意見も入るようにしていけたらと感じた。
濱田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども園えたじまの入口の道路の工事が2年経っても直らない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ この件に関しては、利用者に迷惑をかけて申し訳ないと思っています。9月の議会で予算をつけてもらい、先日出札を行いました。しかし時期的なものなのか、受ける業者がそのとき決まらなかったのが、今後の対応を建設課と協議して行くことにしています。今年度中に始まるのは間違いありませんが、今年度中に終了するかは微妙なところです。近いうちに始めることは決まっています。
濱田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私はこども園えたじまができたときの役員で、園長にその話をしている。当時「言います。小学生も通るし、園児もいて危ないので近いうちに直します」ということだったが、2年経っている。いつになったら直るのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申し訳ないと思います。今回は近いうちに始めるようにします。今回業者が決まったら、入口の工事の案内をしようと思っていましたが、決まりませんでした。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算がついているということは、できるということか。

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・予算はついていますが、災害の関連で土木業者が入札に手を挙げてもらえない状況があったため、入札が不調に終わり、工事に着手できませんでした。2年にわたっているのは、県道と水路の管理の関係で、県との調整に時間がかかったこともあります。県に任せられないということで、市でやることになり、予算を確保した経緯があったため時間がかかりました。申し訳ないと思います。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・それはこども園のうみに伝わっているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・業者が決まり、工事開始の時期が決まったら知らせるつもりでしたが、決まらなかったもので、文書を出していません。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・文書でなくて、電話で事情を説明するのはどうか。決まったら正式にすればよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・園長にはそのように伝えます。保護者に手紙を出そうと思っていましたが、できなかったため申し訳ないと思っています。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・何で工事をするのかを皆知らないから、まだかなとなる。歩道橋と車道に強度がないので変えるということだったが、歩道橋と車道のコンクリートの厚さの違いで許可が出ないことを皆が知るとよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・水路で下が空洞になっているため、上にふたを付けています。しかしそれが歩道用のふたなので、車が通ると落ちてしまい、実際に2か所落ちました。コーンとバーでガードしているため、片方の入口を閉じています。
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> ・何でもそうだと思うが、これは何だろうと思って園長に聞いても答えられないときは、支援センターの誰かに聞いてみたり、電話かけたらいいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・全て市に聞いてもらえたらと思います。
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の整合性が取れない所がいくつかあったが、今回の資料を見ると整合性が取れている。 ・ICTがどこに入ったのか教えてもらいたい。なくなったのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・混乱させて申し訳ないと思います。最初に送った資料1は変わっていませんが、本日差し替えとして配付した資料2と、資料1の内容の順番の入れ替えはできましたが、細かな中身まで確認が追い付いていませんでした。 ・ICTについてはまだ入っていませんが、資料1 P41です。資料1でICTは、情報発信のところ少し触れています。保育現場においては、今の段階ではその言葉を入れていませんが、事務の効率化を図って、ICTによる環境の整備の説明で触れています。言葉としては、資料1 P35(1)保育サービスの充実で、まだ入ってきていません。資料1の細かい内容、表現について十分対応しきれないまま出してしまい、申し訳ないと思います。

議事内容（要旨）	
樋上副会長	・取組は大きな項目，取組内容は小さな項目なので，照らし合わせればよいか。
事務局	・資料1が基本になります。
樋上副会長	・大きく取り上げられていたものがなぜ削られたのかと思った。「新」が入っていたりいなかったりする。どれを見れば本当かと思った。
事務局	・現段階では，資料1を見てもらえたらと思います。完成したものではないので，今後表現が変わるところもありますが，基本的な考えは変更する予定がないので，資料1を見て意見をもらいたいと思います。
樋上副会長	・ICTについては，これからの時代やっていくべきだと思うので，隅で取組内容に付け足すような形にしないでもらいたい。これは他の部署とも関係してくる。もう少し重要性を感じてもらいたい。
梅比良会長（議事進行）	・ほかにあれば伺いたい。 ・これで全ての議事が終了した。
事務局	・閉会挨拶 ・閉会